

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	適正処理対策室
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-839-2370
	基本事業	ごみの適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	ごみ適正処理指導事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市内約 8,300 箇所のごみステーションを適正に管理するため、家庭ごみの適正処理について、ホームページや広報紙を通じて、市民への周知・啓発に努めるなど、ごみに関する意識の向上を図り、ごみステーションへ出される不適正ごみの削減を進める。		
年度概要	ごみステーションの適正な管理を行うため、監視パトロールや看板の配布等の啓発活動を継続する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


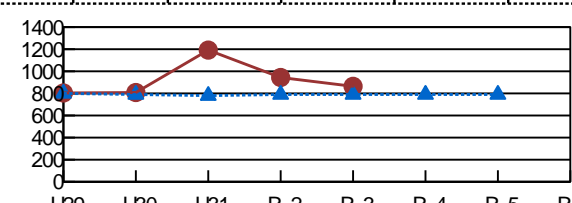
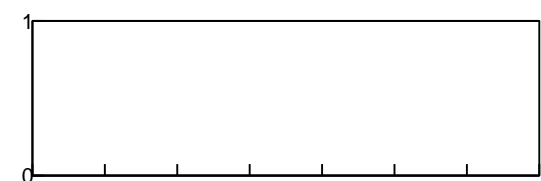
【事業の目的】

対象(何を)	市内全域のごみステーション
意図(どのような状態にしたいか)	ごみステーションの管理者や使用者の環境美化意識の向上を図り、適正なごみステーション管理を行う。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
ごみステーションパトロール件数	ヶ所	8,177	8,306	8,112	8,075	8,075

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
不適正管理ごみステーション対応件数	件	目標値	780	790	790	790	790
		実績値	1,192	944	864		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 不適正ごみが出されているごみステーションが多くみられることから、適正なごみの出し方について指導し、市民のごみに対する意識の高揚を図る。 	(目標達成度)						(達成度) 90.6% 31点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(予算)
トータルコスト	[円]	135,054	147,809	156,611	157,113
(事業費)	[円]	4,540	4,155	4,025	4,603
(職員人件費)	[円]	130,514	143,654	152,586	152,510

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

ごみの分別ができていないものや指定有料袋に入れていない等の不適正なごみをごみステーションに出しているケースが多々見られ、特に引越し時期の3月・4月は多く発生している。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

不適正ごみの排出者に対し、文書による個別指導を引き続き行うとともに、特に、住宅管理者に対しては、入退去時に、適正なごみの出し方の説明を行うことが効果的であるため、説明会での周知・徹底を依頼する。
また、市政出前ふれあいトークや環境学習などの体験型事業による啓発を通じて、事業者・市民のごみに関する意識の向上を図る。

令和 4年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境施設対策課
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-839-2102
	基本事業	ごみの適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	次期ごみ処理施設整備検討事業		事業期間	令和 2年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の一般廃棄物の中間処理施設である西部クリーンセンターが令和14年度末に稼働を終了するほか、南部クリーンセンターも同時期に稼働後約30年を経過することから、令和15年度以降も、安定したごみ処理運営を行うため、ごみ処理施設のあり方及び整備について検討を行う。			
年度概要	「次期ごみ処理施設整備基本計画」を策定する。			
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型

【事業の目的】

対象(何を)	次期ごみ処理施設
意図(どのような状態にしたいか)	令和2年度、令和3年度の2カ年で「次期ごみ処理施設整備基本構想」を策定し、令和4年度に「次期ごみ処理施設整備基本計画」を策定する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
次期ごみ処理施設整備検討事業の進捗率(事業費ベース)	%		11.7	51		100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標	次期ごみ処理施設整備検討事業の進捗率(事業費ベース)	%	目標値		22	51		100
			実績値		11.7	51		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和3年度に目標としていた高松市次期ごみ処理施設整備基本構想を策定した。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
			目標値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[千円]		17,352	32,712	40,881
(事業費)	[千円]		2,388	17,612	25,781
(職員人件費)	[千円]		14,964	15,100	15,100

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和3年度には、目標としていた、「次期ごみ処理施設整備基本構想」を取りまとめた。今後も、令和15年度の施設稼働に向けて、遅滞なく事業を進める必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

令和4年度は、「次期ごみ処理施設整備基本計画」を策定し、5年度以降も、必要な事業を計画的に実施し、施設整備を進める。